

「丸岡城とその周辺観光ガイド」冊子について

丸岡観光ボランティアガイド協会が平成 23 年に発足し、丸岡城を拠点として案内活動を続けています。昨今のお城観光ブームもあって、丸岡城を訪れる観光客もこれまでにない伸び率を示し、協会員一同、嬉しい悲鳴を上げている次第です。その間、いろいろな方々からご要望を頂いていたのが、丸岡城および城周辺の古跡や名勝地についてのまとまったガイドブックの冊子でした。現在、坂井市の観光産業課の発行する丸岡城の観光パンフレット、リーフレットは出回っていますが、まとまった冊子は出版されていないようです。

そんな中、この度「丸岡城とその周辺観光ガイド」を冊子として発刊することになりました。キャッチフレーズは「丸岡城のことならこの一冊で、そして丸岡の観光のことならこの一冊で」とまとめあげました。しかしながら、内容やレイアウト等に至らぬ点が多々あるかと思いますが、この冊子が現代の丸岡在住の人々や故郷丸岡を愛する人々、さらには丸岡を訪れる方々の思い出の一冊となることを願っています。

冊子は、A5判全46頁のボリューム。小学生からご年配の方々を考慮して、字体を大きく、ふりがなを付けるなどしています。また、きれいな紙質のオールカラー、ふんだんに写真を掲載し目でも楽しめる内容になっています。

この冊子は、一筆啓上茶屋、歴史民俗資料館で一冊 500 円で販売しています。

表紙

目次

丸岡城城郭

丸岡城とその周辺観光ガイド

岐阜県丸岡観光マインズ協会編

丸岡城とその周辺観光ガイド	
丸岡観光MAP デラビア	
目次	
はじめに	1
1 丸岡城の沿革	3
(1) 戦国時代の丸岡城 (2) 最古の天守 (3) 丸岡城城主	3
2 丸岡城城郭	4
(1) 天守の構造と特徴	4
(1) 一重 (2) 三階の望楼型・石瓦葺き	4
(2) 天守の壁 (3) 阿町の鬼瓦 (4) 野面積み石垣	4
4 天守内部の様子	10
(1) 1層 (2) 2階 (3) 3階 (4) その他の施設	10
5 天守から眺めると丸岡観光ガイド	13
(1) 東方向の眺め	13
① 春日寺跡 ② 丸岡高専学校と丸岡インター	13
③ 丸岡温泉「道の駅」④ のどかな山奥 竹田地区	13
⑤ 関ヶ原城址 ⑥ 歴史民俗資料館	13
(2) 南方向の眺め	18
① 国神神社 ② 本光院と白道寺 ③ 華山観音の古里	18
④ 森家の里 ⑤ 六右衛門山古墳群 ⑥ 総合グリーンセンター	18
⑦ 越前竹入郷の里 ⑧ 表見の集	18
(3) 西方向の眺め	20
① 長者崎 ② 徳光寺 ③ 中野重治と生家跡	20
④ 丸岡事務所跡	20
(4) 北方向の眺め	23
① 湯坂や草園と平草小学校 ② 観音山古墳	23
③ 日向神社	23
6 天守周辺の彫刻・石碑等	25
① お静室堂	25
② 登り石虎下の石碑	25
③ 合馬文相石碑	25
④ 牛ヶ馬石	25
⑤ 赤津田先生之碑	25
⑥ 南谷公一碑	25
⑦ 水門梁の石碑	25
⑧ 朝日新聞報陣萬歳碑	25
⑨ 雲の井戸	25
⑩ 石虎碑群の中から	25
7 ヒックリ丸岡産業	32
8 城丸若クイズに挑戦	33
スタンバイ合戦。想い出	33

丸岡城イラストMAP

丸岡城跡 (1980年撮影)

守りは絶えず、城外の北面、東側には防塁を築き、それを更に田上水田を取り囲んでいました。本丸は城の中心となる血輪で「観音の丘」や「お静室」が造られ、ここには天守や本丸御殿が建てられていました。二の丸は本丸の北の麓にあり、3つの血輪からなりその中央の血輪に鎮座する「二の丸御殿」がありました。そして、丸岡城全体としては、建群式と複合式が組み合わさった複合式の縄張りであったとみえるでしょう。

この丸岡城は明治50年の城址への地下げによって、石瓦、唐物類、土木も廃棄され、断片は埋め立てられ、現在は学校の校舎や民家などが建てられ、遺構がほとんど見えなくなりました。かつての縄張りを知る事は困難になっています。しかし古い地図を手にして見ると、内堀に沿ってあった土塁が遺構を留めていたり、外堀は土堀はなくなっていますが残されているりして見えますので、かつての城郭の姿を垣間見ることが出来るのではないのでしょうか。

-4-

お問い合わせ先

丸岡観光ボランティアガイド協会

〒910-0231 福井県坂井市丸岡町霞町 1-59

霞ヶ城公園事務所内

TEL : 0776-66-0303

FAX : 0776-66-0678

(2014.11.29 作成)